

| | | | |
|--|---|---------------------------------------|-----------------|
| 科目名：成人歯科学Ⅱ〈修復・歯内〉 (Restorative Dentistry・Endodontology) 履修年次/時期：2年次 前期 授業形態：講義 担当教員：角田 晃（実務経験有）、長谷 徹（実務経験有） | | 必 | 1 単位 (45 時間) |
| 学修目的 | むし歯（う蝕）と歯の神経の病気の治療法の原理と処置の実際が分かり、治療にあたっての歯科衛生士の業務内容がしっかり修得されることを目的としています。そして、その知識が歯科診療補助論、歯科予防処置論、歯科保健指導論を学ぶための大きなバックボーンとなることを期待しています。 CP：2、3に関連する。科目 No. S2C09H04 | | |
| この科目が目的としている DP | 1. 医療専門職としての倫理観を有する。 | (1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。 | |
| | | (2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。 | |
| | 2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。 | (1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。 | |
| | | (2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。 | ◎ |
| | | (3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。 | |
| | 3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。 | (1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。 | |
| (2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。 | | | |
| (3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。 | | | |
| ◎：この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○：この講義・演習・実習と関連がある DP | | | |
| 到達目標 | 1. 硬組織疾患の種類とリスクファクターを説明できる。 2. う蝕の分類と診査法について説明できる。 3. う蝕治療の前準備について理解し、説明できる。 4. 修復法の種類と特徴およびメンテナンスを説明できる。 ① グラスアイオノマーセメントについて説明できる。 ② 接着性コンポジットレジン(CR)修復法について説明できる。 ③ メタルインレー (In) 修復法について説明できる。 5. 歯質切削器具を説明できる。 6. 歯髄疾患を分類し、臨床的な特徴、治療法および必要な器具が説明できる。 7. 根尖性歯周炎の診断と治療および必要な器具が説明できる。 | | |
| 授業概要 | 歯科保存学は、咬合・咀嚼器官の重要な構成要素である歯の生理学的機能を回復・維持し、かつ疾病の予防を目的としており、治療対象は口腔の二大疾患である虫歯（う蝕）と歯周病です。そのうち、成人歯科Ⅱ（修復・歯内）は虫歯（う蝕→修復治療）と歯の神経の病気（歯髄炎・根尖性歯周炎→歯内治療）がテーマです。講義では、診断と治療に必要な知識、技能を勉強し、歯科医療現場において歯科医とともに歯科医療の一翼を担える歯科衛生士となることを目指しています。 | | |
| 評価方法 | 筆記試験（90%）、授業態度・課題への取り組み（10%）の総合評価 試験に対するフィードバックは掲示で行う。 | | |
| 予習・ | 【予習】0.5 時間 | | |

| | |
|---------------|---|
| 復習時間 | 【復習】0.5時間 |
| 教科書 | 【歯科衛生学シリーズ】保存修復学・歯内療法学 医歯薬出版株式会社 |
| 参考書 | |
| お問い合わせ 連絡先 | 角田：月～金 16:30～17:00 4号館 2F 角田研究室 tsunoda@kdu.ac.jp 不在時はメールをお願いします。 長谷：月・水・金 12:10～12:50 16:00～17:30 4号館 2F 長谷研究室・臨床基礎統合ゼミ準備室 nagatani@kdu.ac.jp |

| 実施回 | 授業計画 | 予習・復習・キーワード | 担当 |
|-------|---|---|-----------|
| 1 (/) | 歯科保存学における修復学と歯内治療学の意義と概要を理解し、臨床におけるポイントと違いを説明できる。 | [予習] 保存修復治療および歯内療法とは [復習] 保存修復治療および歯内療法のポイント [キーワード] 保存修復、歯内療法 | 講義 ○角田 |
| 2 (/) | う蝕の分類と診査法について、その基礎と臨床応用を学び、臨床において実践できる。 | [予習] 歯の硬組織疾患の種類 [復習] 窩洞の分類 [キーワード] ブラックの分類、う蝕発生のリスクファクター、硬組織疾患の予防 | 講義 ○角田 |
| 3 (/) | 修復治療法の代表のひとつである成型充填法（グラスアイオノマーセメント）について、その基礎と臨床を学び、臨床的特徴と治療上の注意点が説明できる。 | [予習] 成形充填法とは [復習] グラスアイオノマーセメント [キーワード] 直接修復 | 講義 ○角田 |
| 4 (/) | 修復治療法の代表のひとつである接着性コンポジットレジン（CR）修復法についてその基礎を学び、歯質への接着メカニズムについて説明できる。 | [予習] 接着性コンポジットレジン [復習] 接着メカニズム [キーワード] 接着メカニズム | 講義 ○角田 |
| 5 (/) | 光重合型コンポジットレジン（CR）修復法について、その重合メカニズムを学び、治療上の注意点が説明できる。 | [予習] 重合メカニズム [復習] 治療上の注意点 [キーワード] 光重合型、光照射 | 講義 ○角田 |
| 6 (/) | 光重合型コンポジットレジン（CR）修復法について、治療上の操作手順を学び、治療上の注意点が説明できる。 | [予習] 光重合型コンポジットレジン修復について [復習] 治療の操作手順 [キーワード] 防湿（ラバーダム防湿）、歯間分離法、隔壁法 | 講義 ○角田 |
| 7 (/) | インレー修復法の基礎と臨床的特徴について学び、インレー修復法とコンポジットレジン修復法の臨床的な特徴と違いを説明できる。 | [予習] インレー修復 [復習] 印象材・模型材、合着材・接着材 [キーワード] 歯質切削、間接修復、歯肉排除法、メンテナンス | 講義 ○角田 |
| 8 (/) | 歯内治療学の意義と目的を理解し、その治療対象である歯髄の構造とその機能について学ぶ。 | [予習] 歯髄の構造と機能 [復習] 歯内治療の意義 [キーワード] 歯髄 | 講義 ○角田 |
| 9 (/) | 歯髄疾患（歯髄の病気）の分類①について学び、臨床的な特徴、違いを説明できる。 | [予習] 歯髄疾患の分類 [復習] 歯髄疾患の特徴と違い [キーワード] 歯内療法、歯髄保存療法、歯髄除去療法、根管治療 | 講義 ○角田 |

| | | | |
|--------|---|--|-----------|
| 10 (/) | 歯髄疾患（歯髄の病気）の分類②について学び、臨床的な特徴、違いを説明できる。 | [予習] 歯髄疾患の特徴 [復習] 歯髄疾患の分類と特徴 [キーワード] 歯内療法、歯髄保存療法、歯髄除去療法、根管治療 | 講義 ○角田 |
| 11 (/) | 歯髄疾患の治療法①として、歯髄に対する治療法を学び、その意義と必要な器具の説明ができる。 | [予習] 歯髄治療の意義 [復習] 歯髄治療法と必要な器具 [キーワード] ラバーダム防湿法、 | 講義 ○角田 |
| 12 (/) | 歯髄疾患の治療法②として、歯髄を除去する治療法を学び、その意義と必要な器具の説明ができる。 | [予習] 歯髄除去について [復習] 歯髄除去法に必要な器具 [キーワード] 歯内療法、歯髄保存療法、歯髄除去療法、根管治療 | 講義 ○角田 |
| 13 (/) | 根尖性歯周炎の診断と治療①として、根尖性歯周炎（根の病気）の分類を学び、臨床的な特徴と違いを説明できる。 | [予習] 根尖性歯周組織疾患の種類 [復習] 根尖性歯周組織疾患の分類と特徴 [キーワード] 急性根尖性歯周炎、慢性根尖性歯周炎 | 講義 ○角田 |
| 14 (/) | 根尖性歯周炎の診断と治療②として、根尖性歯周炎（根の病気）の治療法を学び、その意義と治療に必要な器具が説明できる。 | [予習] 根尖性歯周組織疾患の治療法 [復習] 根尖性歯周組織疾患の治療器具 [キーワード] 安静、電法、化学療法、鎮痛剤、根尖孔穿通、外科的開窓法 | 講義 ○角田 |
| 15 (/) | まとめ | [予習] [復習] [キーワード] | 講義 ○角田 |